提 言 書

「Heart of　Tajimi ―たじみ市民討議会2017―」

**基本理念　にぎわいのあるまち「多治見」**

2017年6月3日、4日に市民30人の参加を得て、『にぎわい』に焦点を当てた討議会を実施しました。市民が如何に多治見の魅力を再認識し行動するかについて意見交換した結果を以下に提言いたします。

**討議テーマ1：地域の行事に関わる人を増やすには？**

市民は地域・団体に所属していなくても関心があれば、その行事の運営を含めて参加したいと考えています。

市民自らが地域の行事に関心を持ち、積極的に関わるために以下２点を提言します。

1. **地域間の情報発信を望みます。**

地域全体の活性化を促進するために、自治会や団体が主催する行事を相互に情報発信することが有効と考えます。そこで、地域の代表が集まる連絡会や協議会などで情報交換が出来るような働きかけを望みます。

1. **新しい発想の行事の企画を望みます。**

従来の参観型イベントに加え、市民自ら企画し参加できる多治見独自の自由でユニークな行事（区や校区対抗で競う『たじみオリンピック』や『ギネスに挑戦』など）の開催を望みます。

**討議テーマ2：多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか？**

市民が多治見駅周辺の施設や活動拠点を有効に活用するため、以下２点を提言します。

1. **駅周辺のアクセスの利便性向上を望みます。**

駅周辺には市民生活に直結する商店街や図書館など文化施設の他、市民病院や税務署、国土交通省など公的機関も点在します。アクセスの利便性の向上と、市民の日常生活をサポートするために、公設民営の電動アシスト仕様のレンタサイクル設置を望みます。

1. **駅周辺の施設の利用に関する利便性向上を望みます。**

虎渓用水広場や、ヤマカまなびパークなどの公的施設の利用案内や利用手続きを分かり易くして施設の利用を促進することを目的に、庁内の一部署が担当する、あるいは指定管理者のうち何れかがその業務を受託するなど一元化することを望みます。

**討議テーマ3：多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか？**

市民は多治見市のにぎわいに積極的に関わりを持ち、貢献したいと考えています。しかし、個人の力では困難であるとも考えており、行政による働きかけを望んでいます。多治見のにぎわいに市民が積極的に関わるために、以下２点を提言します。

1. **市民が多治見を知り、より親しみを増幅させるための勉強の機会を設定することを望みます。**

市民が楽しみながら多治見の文化・歴史・産業・地理・気候・風土…等を学び、多治見の素晴らしさを自ら認識して発信していくことを目的として、『多治見検定』の企画、実施を望みます。

1. **地産地消の更なる取り組み強化を望みます。**

市民は多治見の産業・経済を支援するため、多治見のものを使い多治見で消費します。

行政においても更なる地産地消の推進を望みます。

2017年９月６日

たじみ市民討議会実行委員会

実行委員長　竹本幸二